

(別紙2-2)

事業所名:グループホームまつぎの宿

作成日:平成 27年 8月 26日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	28	「その人らしい生き方」の継続にて「ひもとき」「センター方式」を職員一人一人が実施しているが今後も継続していきたい。	「その人らしい生き方」の支援の継続。 「ひもとき」「センター方式」にての情報収集の継続をする。	・毎月ミーティングにて「ひもとき」「センター方式」の分からない事を職員より聞きだし、認知症実践者研修、リーダー研修参加職員より説明してもらう。 ・ケアプラン作成の対象者の「ひもとき」「センター方式」を職員全員で行うことの継続。 12ヶ月
2	54	洗濯場なども入居者も入れるために洗剤などおいてあるので、予期せぬ事故が起こる可能性がある。	環境整備の継続 物品の把握	・常に整理整頓を行っておく、物品の把握をしておき紛失時にはすぐに対応できる体制を作っておく。 ・棚には布を掛ける等行い入居者に危険が及ばない様に配慮する。夜間戸締りをしっかり行う。 12ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。